

政策コメンテーター報告(第5回)(意見照会期間:2015年10月22日～11月4日):久保田 政一 一般社団法人日本経済団体連合会事務総長

質問事項		選択式 回答	記述式回答
経済動向		悪くなっている	夏以降、中国をはじめとする新興国経済の減速が顕在化したこと等を受け、輸出、生産に弱い動きがみられる。先行きに対する慎重な見方が強まり、設備投資はこのところ弱含み、日銀短観等で示されている強気の設備投資計画がその通り実行されるのか注視が必要。個人消費も弱い動きとなっている。 なお、10月16日の経済財政諮問会議において、榑原会長からご説明させていただいた通り、経済界としては、中国経済の現状と将来を悲観視しておらず、今後の現地でのビジネス展開については、現状維持または拡充のスタンスである。景気下支え策の効果や構造改革の進展により、中長期的には安定した成長を続けていくとみられる。
1	2015年10月下旬から11月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年7月下旬から8月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのでご参照ください。		
「経済・財政一体改革」に向けた取組		-	
2	改革工程表・KPIに関する検討状況や上記の議論に関し、特に加速・強化すべき取組について、財政健全化や経済成長への貢献といった観点や、現場・地域の視点などに照らしてお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。		